

滋賀県一丸で挑む 糖尿病実態調査プロジェクト

～24年間の地域連携モデル～

一般社団法人 滋賀県医師会



1/6

滋賀県から全国の医療へ

日本の縮図

- ・滋賀県は面積・人口ともに全国の約1%を占める「1%県」
- ・GDPは全国23位と経済活動もちょうど真ん中

滋賀県医師会糖尿病実態調査

2000～2024年の24年間、計5回にわたり継続する本調査は累計約11万例に達する。我が国の糖尿病患者数は非常に多く、専門医だけでは手が足りず、かかりつけ医も診療を担っている実情であるが、多くの糖尿病実態調査は糖尿病専門医療機関によるものである。

本調査は我が国の真の糖尿病診療実態を反映する極めて貴重なデータであると考えられる。



2/6

広報プロセス

Step 1：事前広報 医師会報での周知

調査開始前から**滋賀県医師会報**にて本事業の意義や過去の成果を案内。県内のかかりつけ医(会員)に協力意識を浸透。

今日のことば

第5回滋賀県医師会糖尿病実態調査の実施に際して(令和6年度)

滋賀県医師会 理事長 岡本 元純

令和6年がすぎるとも思われずして、COVID-19が感染症として顕在化し、全国的に大きな被害をもたらした。県内でも院内からの流行の勢いが目立つようになり、コロナの対策への対応が厳格化し、マスクと手洗いの徹底が求められるようになった。今年もコロナ禍の影響が、調査の進捗に与えている。

第5回滋賀県医師会糖尿病実態調査は、平成12年(2000年)11月1日から30日までの1ヶ月にわたって、市内の各診療所・病院で実施された。その結果、平成12年11月14日(金)に調査結果が発表された。その結果、平成12年11月14日(金)に調査結果が発表された。その結果、平成12年11月14日(金)に調査結果が発表された。

Step 2：現場広報 院内ポスター掲示

実施期間中、参加協力機関の診療所・病院に**ポスター**を掲示。医療者と患者が一体となって調査に協力する環境を醸成。

滋賀県医師会
糖尿病実態調査への
ご協力をお願い

当医師会では、一般社団法人滋賀県医師会が実施する「滋賀県医師会糖尿病実態調査」に参加して、糖尿病で悩んでいる患者の診療情報を提供し、糖尿病の予防、診断、治療に役立て、個人情報の保護を図っています。

これらのデータは、今後の糖尿病診療の向上と、調査や研究のために活用させていただきます。今後、調査結果のご活用とご協力をお願いいたします。

※調査結果については、上記利用以外の目的で個人情報を提供したり、第三者に提供することはできません。同意されない場合は下記お問い合わせください。

※本調査は滋賀県医師会主催の多施設共同研究として、滋賀県医師会と県立総合医療センターの協力を得て実施しています。

2024年10月
一般社団法人滋賀県医師会
事務局 第一
氏名
氏名
氏名

Step 3：迅速還元 結果速報&報告書

調査結果は滋賀医学会総会や研究会にて**結果速報**を迅速発表。2026年(令和8年)3月には参加協力機関を含む県内の会員診療所・病院へ詳細な**報告書**を送付し還元。

滋賀県医師会糖尿病実態調査報告書

令和6年10月～11月

令和8年3月
滋賀県医師会

3/6

調査概要

登録患者数 24,587人 を達成！

調査方法

調査票を用いた医療機関に対するアンケート形式(電子データでの回答も可)

実施スケジュール

- 2024年7月～8月 事前アンケート実施
- 2024年9月 倫理審査
- 2024年10月～11月 第5回滋賀県医師会糖尿病実態調査実施
- 2024年12月～2025年5月 調査票の回収
- 2025年5～7月 調査票のデータ化
- 2025年8月～10月 データ分析
- 2025年11月 滋賀医学会総会で速報発表
- 2026年3月 報告書 ⇒ 参加医療機関に配布
- 2026年4月～日本内科学会をはじめ国内の主要学会や研究会で成果発表

2024年度滋賀県医師会糖尿病実態調査票
(調査対象患者 2024.10/11月受診患者)

(記載上の注意事項)
・2024年10月/11月の診療日より過去1年間で測定された一番近い値をご記入ください。
・測定していない場合は(未測定)に○をしてください。

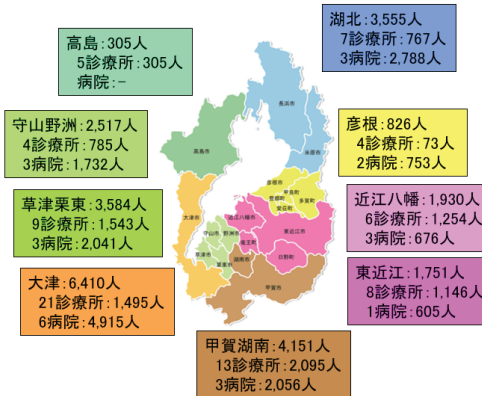
1. 患者イニシャル 姓 名 (例: 滋賀太郎→S.T.)
2. 調査月 2024年 月 日
3. 生年月日 (1. 大正 2. 昭和 3. 平成 4. 西暦) 年 月 日 ※高層は下2桁を記載
4. 性別 (1. 男 2. 女)
5. 身長 ㎝ (小数点以下四捨五入)
6. 体重 ㎏ (小数点以下四捨五入)
7. 血圧 ㎜Hg / ㎜Hg
8. 降圧剤治療 (1. 有り 2. 無し 3. 不明)
9. 糖尿病治療 ※複数選択可
(1. 食事・運動療法のみ 2. 経口薬(経口GLP-1以外) 3. インスリン 4. GLP-1製剤(経口・注射) 9. 不明)
10. 脂質異常症治療薬 (1. 有り 2. 無し 3. 不明)
11. HbA1c %、グリコアルブミン % (どちらも未測定)
12. 血清総コレステロール mg/dL (未測定)
13. 血清中性脂肪 mg/dL (未測定)
14. 血清HDLコレステロール mg/dL (未測定)
15. 血清LDLコレステロール mg/dL (未測定)
16. 血清クレアチニン mg/dL (透析中・未測定)
17. 尿タンパク (1. 陽性 2. ± 3. 陰性 9. 未測定)
18. 尿アルブミン排泄量(過去1年間) (1. 有り 2. 無し 3. 不明)
19. 尿アルブミン排泄量 mg/gCre (小数点以下四捨五入)
20. 眼底検査(過去1年間) (1. 有り 2. 無し 3. 不明)
21. 糖尿病網膜症(過去1年間) (1. 有り 2. 無し 3. 治療後 9. 不明)
22. 歯科受診(過去1年間) (1. 有り 2. 無し 3. 歯痛 9. 不明)
23. 喫煙について (1. 吸わない 2. 禁煙した 3. 喫煙中 9. 不明)
24. 療育機関について (1. 有り(大腸・肝・腎・胃・肺・その他) 2. 無し 9. 不明)

※下記の整理番号欄は、滋賀県医師会に記入するもの。

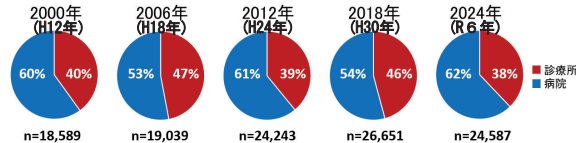
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

滋賀県全域から参加協力

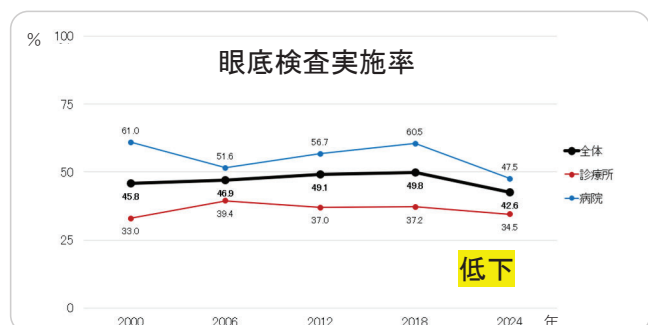
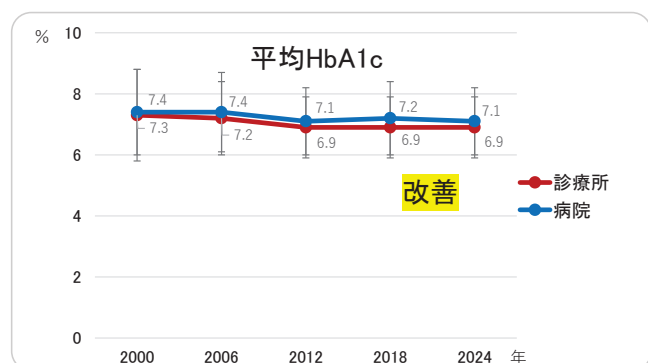


登録患者数の推移

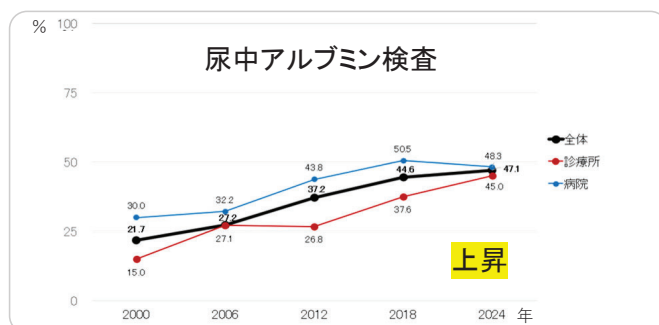
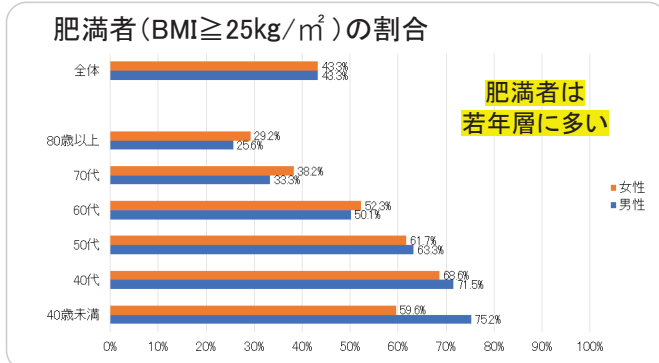


4/6

結果概要



糖尿病治療状況の変化を把握



5/6

全国発信・多角還元

- 臨床データから見えた新たな課題:
良好な血糖管理を達成する一方、眼底検査実施率の低下や若年者での肥満など、全国共通の懸念課題を特定。
- 報告書末尾でのアンケート実施:
検査率低下の背景を探るため、報告書の最終ページに参加機関向けアンケートを設置。回収率向上のため、2026年4月～8月にかけて医師会報にアンケートを継続掲載し、現場の意見収集を徹底強化。
- 日本国内の主要学会での成果発表:
日本内科学会総会をはじめとする国内のトップ学会にて精力的に発表。
滋賀のデータは「日本の糖尿病診療の実態を映す鏡」として、高く評価されています。
- 市民・患者への還元:
滋賀糖尿病ネットでデータを分かりやすく可視化発信。
- 行政連携:
滋賀県健康医療福祉部「糖尿病療養指導充実支援事業」への情報提供。

会員の先生方へ

糖尿病合併症検査についてのアンケートのお願い

滋賀県医師会糖尿病対策委員会では糖尿病合併症検査の実施率を高めるための対策を検討中です。多くの先生方にご意見をいただきたく存じますので、ご回答のほどよろしくお願いいたします。ホームページでご回答いただける先生は、次のQR(二次元バーコード)からホームページにアクセスのうえご回答ください。

このページを切り取るかコピーしていただき、FAXでお送りいただいても結構です。

アンケート項目

①所属地域域医師会を○で囲んでください。

大津市医師会	草津東医師会	守山野洲医師会
甲賀湖南医師会	近江八幡市衛生部医師会	東近江医師会
彦根医師会	湖北医師会	高島医師会
大津赤十字病院医師会	滋賀医科大学医師会	

②所属医療機関は診療所ですか？ 病院ですか？ 診療所 ・ 病院

③患者さんに眼科受診を勧めていますか？ はい ・ いいえ

④患者さんに歯科受診を勧めていますか？ はい ・ いいえ

⑤糖尿病連携手帳を使用していますか？ はい ・ いいえ

⑥尿アルブミン検査(尿中アルブミン定量)は3カ月に1度、診療報酬点数を算定できることをご存じですか？ はい ・ いいえ

⑦眼底検査、尿アルブミン検査、歯科受診を実施しにくい要因は何ですか？ (自由記述)

⑧糖尿病専門医資格について あり ・ なし

回答先: 滋賀県医師会 糖尿病対策委員会 FAX: 077-552-9933

「1%県」滋賀の24年間にわたる質の高い実態調査と、
事前周知・結果還元・事後アンケート・全国学会発表を結ぶ広報PDCAサイクル。
滋賀県医師会は、日本の糖尿病医療の質向上を牽引する広報イノベーションを推進します。

24年のエビデンスを広報の力で全国の未来へ

6/6